

# じぞうどう いしがき 地蔵堂の石垣

●所在地／双海町串池ノ久保 ●所有者／池ノ久保地区

どやまじぞうどう  
土山地蔵堂の左右と後方をコの字形に囲った全長 16.2m、幅 0.6m、高さ 1.35m の石垣である。

土山地蔵堂は、たきやま くぼみちはる  
瀧山城主久保道春が郷土鎮護のためおうえい  
応永 23 年 (1416) さいこう  
西光  
寺とともにこんりゅう  
建立したものである。

きょうほう  
享保 3 年 (1718)、ひごのくに  
肥後国 (熊本県) の領主が参勤交代のためこの沖を通過  
中、暴風雨に遭ったが、土山地蔵に祈願したところ遭難を免れた。領主は江戸  
から帰る途中、願ほどきのため住民の協力を得てじょうど  
城妬の浜より約 2.5km の道  
程を手繰りてぐ  
て浜石を運ばせ、地蔵堂を守る石垣を築かせたと伝えられている。  
数多くの浜石で構築された見事な石積みである。

